

— 予算の概要 介護保険（介護勘定） —

■収入

科 目	予算額 (千円)	介護保険第2号被保険者 たる被保険者等 1人当たり額 (円)
介護保険収入	250,082	119,143
繰入金	46,527	22,166
雑収入	10	4
合計	296,619	141,314

■支出

科 目	予算額 (千円)	介護保険第2号被保険者 たる被保険者等 1人当たり額 (円)
介護納付金	256,888	122,386
介護保険料還付金	100	48
雑支出	11	5
予備費	39,620	18,876
合計	296,619	141,314

< 予算の基礎数値 >

- ・被保険者 3,634人
- ・平均標準報酬月額 626,899円
- ・総標準賞与額（年間合計） 2,184,958千円
- ・被保険者の平均年齢 43.69歳
- ・健康保険料率（調整保険料含む） 84.00 / 1,000  
（事業主55.93 / 1,000 被保険者28.07 / 1,000）
- ・介護保険料率 14.0 / 1,000  
（事業主7.0 / 1,000 被保険者7.0 / 1,000）

第151回組合会  
その他特記事項

●理事専決事項報告・承認の件

- ①平成31年度一般勘定収入予算に高齢者医療運営円滑化等補助金を計上
- ②加入事業所の削除（MOL Japan）
- ③社会保障・税番号制度システム整備事業の実施、補助金申請、本件に係る予算変更
- ④予算の款項目間の流用
- ⑤加入事業所の削除（商船三井キャリアサポート株式会社中部支社、同社人材事業部横浜営業所、同社関西支店）
- ⑥役員退職に伴う退職積立金繰入（収入）と事務費（支出）を変更

— 予算の概要 健康保険（一般勘定） —

■収入

科 目	予算額 (千円)
健康保険収入	2,383,119
保険料	2,382,611
国庫負担金収入	507
その他	1
調整保険料収入	40,147
繰入金	17,409
国庫補助金収入	1,966
財政調整事業交付金	10,000
雑収入	10,383
合計	2,463,024
経常収入合計 (A)	2,394,462

■支出

科 目	予算額 (千円)
事務費	67,322
保険給付費	1,090,055
法定給付費	1,030,389
付加給付費	59,666
納付金	1,092,130
前期高齢者納付金	463,126
後期高齢者支援金	627,974
病床転換支援金	3
日雇拋出金	956
退職者給付拋出金	71
保健事業費	118,749
財政調整事業拋出金	40,147
連合会費	894
積立金	2,375
予備費	50,000
還付金・雑支出	1,352
合計	2,463,024
経常支出合計 (B)	2,371,876

経常収入支出差引額 (A) - (B) 22,586千円

※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合があります。

●介護保険（介護勘定）

31年度8月より介護納付金の算定方法に4分の3総報酬割が導入されますが、介護納付金は30年度予算比72万円減の2億5,689万円を計上しています。31年度の保険料率は30年同様1000分の14とします。介護保険料の負担割合は、事業主と被保険者の折半（1000分の7ずつ）です。来年度より全面報酬割が導入されるため、介護納付金はさらに増大することが見込まれ、財政状況は今後も厳しいものになると予想されます。

平成31年度予算のお知らせ

健康保険料率は前年度に引き続き、千分の84を維持しての予算編成

健康づくりによる医療費の抑制に今後ともご協力ください

当健保組合の平成31年度予算が、2月21日に開催された第151回組合会において可決・承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

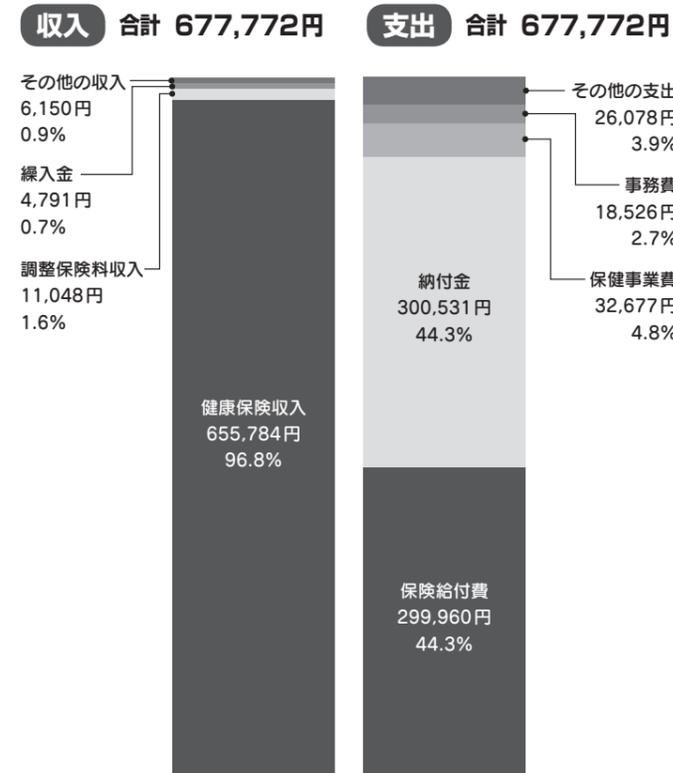
●健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会が公表した平成29年度決算見込によると、29年度の高齢者医療への拠出金の総額は3兆5,265億円となっています。29年度は後期高齢者支援金の全面総報酬割への移行などの影響を受け、前年度比2,446億円増加となりました。高齢者医療への拠出金が50%超を占める健保組合は全1,394組合中490組合に、赤字組合数も580組合に及ぶなど、健保組合を取り巻く状況は依然として厳しいものとなっています。

そのような中、当健保組合の31年度予算は前年度同様に健康保険料率を千分の84を維持しての予算編成となっています。



○被保険者1人当たりの収支の割合【健康保険（一般勘定）】



※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合や、各科目の合計が100%にならない場合があります。

います。高齢者医療への納付金は約10億9,200万円と、保険料収入の45.8%を占めており、依然として高い水準であり、予断を許さない状況です。

当健保組合は、本年度も引き続き、医療費抑制に向けた事業の推進など財政健全化施策を実施してまいります。皆様方におかれましても、当健保組合の行っている各種健診事業等を積極的に利用され、健康の維持・増進に努めてくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

また、31年度は「データヘルス事業」2期の2年目にあたる年であり、30年度に引き続き、データ分析に基づく効

●健康保険（一般勘定）

収入の大部分を占める保険料は、前年度予算より2億6,740万円減の23億8,261万円を見込みました。支出は皆様やご家族の医療費に使われる保険給付費が10億9,006万円、高齢者医療への納付金は10億9,213万円を見込みました。また、皆様の健康を守るための保健事業費には1億1,875万円を計上しました。以上により、実質的な財政状況である経常収支では2,259万円の黒字を見込んでいます。

果的な保健事業の計画を展開してまいります。